

市内小・中学校において 児童・生徒1人1台端末の活用が始まります

国が進めるGIGAスクール構想^{ギガ}を活用し、市内の小・中学校でもさまざまな場面で児童・生徒が1人1台のタブレット端末を使った活動が始まります。

「GIGA」とは、「Global & Innovation Gateway for All」の略で、Global(グローバル)のG、Innovation(イノベーション)のI、Gateway(ゲイトウェイ)のG、All(オール)のA、の頭文字を取ったものです。

学校教育の段階から最新の技術を取り入れることで、地域や学校、家庭環境によるIT格差を無くし、誰もが、現在または将来的にITやICT技術を扱えるようにすることを目的としています。

3ページの図は、1人1台端末の導入について、益田市のスタイルをまとめたものです。



益田市は「ひとが育つまち益田」の実現を目指し、さまざまな施策を行なっています。1人1台端末の導入の目的は、Society5.0[※]で実現する社会に向けた循環型人材育成であり、益田で学び育つ子どもがふるさと益田で活躍できる未来のために、1人1台端末という「新しい学びのカタチ」を取り入れていくというものです。今後、加速度的にICTの活用は必須となり、それを使いこなす能力がますます求められます。



教育は学校のみで完結するものではありません。家庭・学校・地域を学びのフィールドとして考え、学校の学びを家庭での学びにつなげ、さらに、地域での学びにつなげることで、ICTを身近な存在として活用していきます。

端末を学校内にとどめず、持ち帰ってその便利さを実感し、生活の一部として活用する機会を増やすことで、主体的な学びへの相乗効果も期待できます。

さらには、インターネットを介してさまざまな人とつながることで、学びのフィールドは益田市にとどまらず、日本中、世界中へ広がっていきます。

また、小学校、中学校、高等学校と学びの重層化もイメージしています。例えば、小学校では「いつでも、どこでも、何度でもICTを使って楽しく学べる。自分も使ってみたい！生活が便利になる仕事につきたい！」と思い感じさせ育てることで、中学校での「ひととのつながりや仕事をICTでできるようになるかも？」という思いに導き、高等学校では、さらに一歩進んで、地域貢献やグローバルな視点を持った人材の育成を目指します。さらには、ICTを活用して自ら起業や創業を目指す人材が生まれてくることも期待されます。Society5.0で実現する社会において、益田の子どもたち一人ひとりの夢や目標の実現へとつながればと考えています。

情報に関する分野は日進月歩であり今後も大きな変化が訪れると予想されることから、その時代に即応した構想であるためにも、4年ごとに評価と改善を図っていきます。

※ Society 5.0 (ソサエティ 5.0) とは

サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)

(内閣府『第5期科学技術基本計画』より)

ひとが育つまち益田

GIGAスクールを活用し Society5.0 で実現する社会に向けた循環型人材育成
～ 益田で学び育つ子どもが ふるさと益田で活躍できる 未来のために ～



内閣府ホームページより

Society 5.0 で実現する社会

個別最適化の世界 医療・福祉・介護分野での幸福な市民生活
ICT 分野を活用した起業 IoT の活用能力に長けた市民の育成

夢や目標の実現

2020 年小1 児童～
2031 年高3 生徒の12 年間

ステージ1 (2020 年～)
ステージ2 (2024 年～)
ステージ3 (2028 年～)

探究への挑戦

個人タブレット

- 自身のスキルアップ
- 小・中学生への学習・操作方法の支援
- 探究型への挑戦

情報活用能力の育成・プログラミング的思考・情報モラル教育の充実

大学・専門学校

高等学校

ICT は当たり前のツールだから、家、学校、地域でも ICT を使うと、私たちと学校とがつながる。自分の職業や地域の未来のためには IoT が便利。益田が好きだから、益田に住んで、世界のひとに必要とされる仕事をしたいな！

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現するタブレット活用 (With ICT)
- 教科情報での学習、探究の時間での活用 (学びの蓄積と整理)
- 生徒会活動や部活動での利用

個人タブレット

- サードプレイスによるスキルアップ支援
- 小・中学生への学習・操作方法の支援
- キャリアパスポートを用いた地域活動への提言
- オンラインによる「益田版カトリ場」
- 企業とのオンラインによる交流
- ICT 起業、創業キャンプ

探究の継続

持ち帰りタブレット

- 家庭学習での活用
- 地域企業・団体との自己スキルアップの場での活用
- 長期休業中の家庭学習での活用
- 災害などの緊急時の学校とのコミュニケーションツール

中学校

いつでも、どこでも、何度でも ICT を使って楽しく学べる。ひととのつながりや仕事を ICT でできるようになるかも？

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現するタブレット活用 (With ICT)
- 技術科におけるプログラミング学習
- 総合的な学習の時間での活用
- 授業と家庭学習をつなぐタブレット活用
- 生徒会活動や部活動での利用
- 市内外の学校や益田にゆかりのある人とオンラインでつながる活動

GIGAスクール 身近な存在としての ICT

持ち帰りタブレット

- ふるさと教育での活動の記録・発信
- キャリアパスポートに地域での活動を記録
- 地域企業・団体との自己スキルアップの場での活用
- オンラインによる「益田版カトリ場」
- サードプレイス*による ICT キャンプ

※サードプレイス…家庭でも学校でもない、自分にとって心地の良い時間を過ごせる第3の居場所

探究のめざめ

持ち帰りタブレット

- 家庭学習の支援
- 長期休業中の家庭学習での活用
- 健康状態など、児童の情報の共有化のツール
- 災害などの緊急時の学校とのコミュニケーションツール

小学校

いつでも、どこでも、何度でも ICT を使って楽しく学べる。自分も使ってみたいな！生活が便利になる仕事につきたいな！

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現するタブレット活用 (With ICT)
- 算数科・理科などによるプログラミング学習
- 総合的な学習の時間での活用
- 授業と家庭学習をつなぐタブレット学習
- 児童会活動やクラブ活動での利用
- 市内外の学校や益田にゆかりのある人とオンラインでつながる活動

持ち帰りタブレット

- ふるさと教育での活動の記録・発信
- キャリアパスポート*に地域での活動を記録
- 地域企業・団体との自己スキルアップの場での活用

※キャリアパスポート…小中高校生が学習や学校生活の目標を設定し、達成度を自己評価するもの (令和2 年度から導入)

家庭とつながる

学校がつながる

地域とつながる

タブレットPC がもたらす新しい学びのカたち すべての子どもたちに1 人1 台タブレットで学びがつながる

【問い合わせ先】市学校教育課 ☎ 31-0445